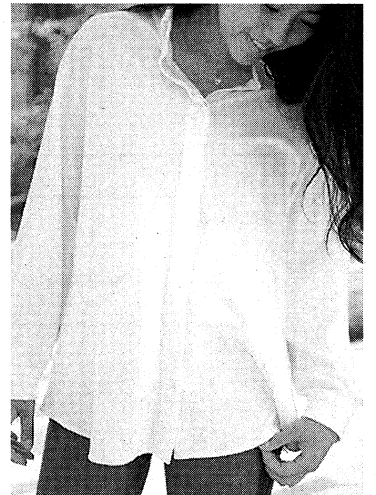


双葉商事 リモートワーク対応シャツ好評 見栄えと機能性を両立

アパレルメーカーの双葉商事（大阪府吹田市）は、リモートワークの増加を背景に、ビジネス、家事の両シーンに対応したシャツを開発した。「ラクスマシャツ」のネーミングでマクアケのクラウドファンディング（CF）をこのほどスタート、開始早々に目標額の2倍、100万円を超えた。

しっかりした見栄えを維持しながら、パソコン作業、掃除・洗濯・料理などの時はTシャツのような快適な着心地を工夫した。メンズ、レディスを揃え、CFの早割価格は税込み4800円。

素材はシキボウの100番双糸の高級な綿精紡交擦糸「デュアルアクション・プレミアム」を活用。超長綿のスーピマ綿とカリフォルニア綿の「黄金比率」ブレンドによる快適な肌触りや、ストレッチ性を併せ持ちながら、襟などが立つしっかりした強度のある生地仕上げ



ラクスマシャツのレディス。マクアケのCFで開始早々に目標額の2倍、100万円を超えた

た。
簡単に腕まくりでき、腕を前

に出しても突っ張らないなど設計面も工夫。汚れにくく撥水性もある。メンズ・レディスともにSからLLまでの4サイズを展開する。
同社の前身は深喜毛織のニット製造部門で70年近い歴史を持つ。主力のODM（相手先ブランド）による設計・生産に力を入れる一方で、オリジナルブランドの開発やこうしたCFなどを通じて新しい売り方への挑戦を加速中だ。

砂山靴下、アプリ「頭痛ー」と協業